

派遣先所属 福島県雇用労政課

氏名 横田 直樹

派遣期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日

1 派遣業務の内容、現状

派遣先の雇用労政課は、労政担当・雇用担当・助成金班で構成されており、ワークライフバランスの推進や労働相談、就職支援、被災者・避難者等の雇用対策などを行っています。

私が属する助成金班では、震災復興関連の事業『ふくしま産業復興雇用支援助成金』を担当しており、班内は福島県職員が2名と派遣職員2名（埼玉、東京と事業所調査に係る専門員3名）の7名が籍を置いています。

このふくしま産業復興雇用支援助成金は、被災地域の安定的な雇用を創出し、地域の中核となる産業や経済の活性化事業に資することを目的に、県指定の産業政策と一体となって雇用面から支援をするものです。

具体的には、グループ補助金などの国や県の実施する補助・融資等を受けた企業が被災による失業者を雇用した場合に、その雇用の実績に基づき企業に対して助成金を支給しております。また、昨年度より、既に助成金の支給を終えた企業へ出向き、申請当時の企業状況、また、現在の経営状況や雇用実績などを聞き取り、助成金の効果について調査も行ってまいります。

現地調査で企業の方からお話を色々聞かせていただくと、震災や原子力災害等により、生まれ育った土地からの移転を余儀なくしてしまった話や同じ地域で廃業する同業他社の従業員を受け入れて雇用した話、流通の停滞や風評被害で商品の売り上げが落ち、雇用の維持に苦勞をした話など理由は様々ですが、『当時はこの助成金があって本当に助かった』といった言葉を聞くと、当時の申請には携わっておりませんが、自分が今行っている仕事の意義が見えたような気がします。

2 被災地の復旧・復興の状況

普段の福島市内の生活では、震災の影響を感じることは、ほとんどありません。というくらいに、埼玉にいた時と同じような暮らしができます。しかし、そうではない地域もあります。

福島第一原子力発電所のある双葉町の双葉駅は駅として機能はしているものの、その周辺の家屋や施設等は震災後そのままになっており、住人がいないため、割れたまま窓ガラスや手入れのされていない庭、朽ち落ちた瓦屋根などの様相は、震災時の被害はもちろん、人がいなくなった町がどのようになるのか、その悲惨さの一端が見えます。

また、双葉町には先日、東日本大震災・原子力災害伝承館がオープンしました。こちらでは、原子力災害の経験や復興の記録や教訓をもとに、「未来への継承・世界との共有」、

「防災・減災」、「復興の加速化への寄与」の基本理念により、新設されました。震災時の記録や展示品など、当時の状況が垣間見えます。また、震災を経験された方々が語り部として、その当時の状況を聞かせてくださる機会もありますので、伝承館に訪れた際には是非とも聞いていただきたいところです。

震災から10年が経過しようとしています。毎年3月に差し迫ると、ニュース番組などで当時を風化させないとして特集が放映されますが、この震災被害や津波被害、原子力災害は風化させてはいけません。また、立ち入ることのできない地域や放置されたままの家屋など、風化することができない現実もあります。

伝承館の語り部の方のお話の中で、次のようなものがありました。その方は、沿岸部にお住まいだった方でしたが、「(その沿岸部の地域に)嫁いできたときに、このあたりは昔から地震が起きて津波は大丈夫だと、地域の人たちから教えられてきた。震災時に私は津波が心配ですぐに逃げたが、周りの人たちは大丈夫だと言って逃げなかった。でも、その人たちはみんな津波に飲まれてしまった。」と。

昔からの経験を超える、想定外の自然災害はいくらでも起こる可能性はあります。被害にあった方々の経験や事実、そういったものを忘れず、次に備える知恵として役立てられるようにすることが大切だと感じます。

3 被災地派遣となって感じたこと

そもそも私が福島県に派遣を希望した理由としては、登山が好きで、百名山である安達太良山などを登るために何度か訪れていたこと。また、以前被災地派遣で訪れていた友人に誘われ福島県で遊び、食し、その魅力を感じていたことがあります。そして、福島県で働くことができることを楽しみにし、また、福島県の方々のために何かできることをと考えておりました。

実際に訪れてみてですが、福島県の方は暖かく、また、人の強さを感じます。

福島県職員の方は、右も左もわからない派遣職員の私にひとつひとつ丁寧に業務のことを教えてくださり、受け入れてくれます。

コロナウイルス感染症により、なかなか外出もできないところではありますが、沈静化したころには、みなさまも1度訪れてみてはいかがでしょうか。訪れたことのある方は何度でもいらしてください。震災被害・津波被害・原発事故といったイメージを持たれている方、たくさんいらっしゃるかとは思いますが、しかし、放射能汚染への対策は進んでいますし、決してそのイメージばかりではありません。

福島を味わい、楽しみ、知ってみてください。それが、きっと今後の福島の復興につながると思います。



鶴ヶ城（会津若松）

雪の鶴ヶ城は綺麗でした。
歴史好きな方は一度是非。



喜多方ラーメン（喜多方）

朝ラーで有名。あっさりしたスープで朝からでも美味しいです。
有名店は混みますが、市内には他にもたくさん店舗があります。



海鮮定食（いわき）

いわき市はアクアマリン（水族館）やハワイアンズなどがあります。
魚介はもちろんですが、デカ盛りのお店が多いことでも有名です。



ソースカツ丼（会津若松）

市内にはたくさんのソースカツ丼屋山があります。デカ盛りですが、パックもあるので、少食の方も大丈夫です。



大内宿（南会津南郷）

旧宿場町。

2月には雪まつりも行われます。



ねぎそば（南会津南郷）

ねぎで食べる蕎麦を一度味わってみてください。美味しいですが、ちょっと苦戦します。

会津地域は蕎麦で有名です。